

2026 年 7 月 5 日

主日礼拝

礼拝讃美歌⇒13 番 (KH 兄)

『わが主よ星の輝く』

聖書⇒使徒言行録 4 章 8~12 節 (MM 姉)

『そのとき、ペトロは聖霊に満たされて言った。「民の議員、また長老の方々、今日わたしたちが取り調べを受けているのは、病人に対する善い行いと、その人が何によっていやされたかということについてであるならば、あなたがたもイスラエルの民全体も知っていただきたい。この人が良くなって、皆さんの前に立っているのは、あなたがたが十字架につけて殺し、神が死者の中から復活させられたあのナザレの人、イエス・キリストの名によるものです。この方こそ、／『あなたがた家を建てる者に捨てられたが、／隅の親石となった石』／です。ほかのだれによっても、救いは得られません。わたしたちが救われるべき名は、天下にこの名のほか、人間には与えられていないのです。』

(祈り)

礼拝讃美歌⇒52 番

『イエス君の聖名に』

聖書⇒詩編 49 編 8~9, 16 節 (ES 姉)

『神に対して、人は兄弟をも贖いえない。

神に身代金を払うことはできない。

魂を贖う値は高く／

とこしえに、払い終えることはない。

しかし、神はわたしの魂を贖い／

陰府の手から取り上げてくださる。〔セラ〕

聖書⇒マタイによる福音書 20 章 28 節

『人の子が、仕えられるためではなく仕えるために、
また、多くの人の身代金として自分の命を献げるために来たのと同じように。』

(祈り)

礼拝讃美歌⇒56 番（KH 兄）

『われらの主よ主イエスよ』

《パン裂き》

聖書⇒エレミヤ書 8 章 10 節（SK 兄）

『それゆえ、わたしは彼らの妻を他人に渡し／

彼らの畑を征服する者に渡す。

身分の低い者から高い者に至るまで／

皆、利をむさぼり／

預言者から祭司に至るまで皆、欺く。』

聖書⇒ルカによる福音書 22 章 19~20 節

『それから、イエスはパンを取り、感謝の祈りを唱えて、それを裂き、使徒たちに与えて言われた。「これは、あなたがたのために与えられるわたしの体である。わたしの記念としてこのように行いなさい。」食事を終えてから、杯も同じようにして言われた。「この杯は、あなたがたのために流される、わたしの血による新しい契約である。』

（式）

礼拝讃美歌⇒148 番

『主の御旨により』

《建徳》

聖書⇒エレミヤ書 35 章 2, 6~11, 18~19 節（CN 兄）

『「レカブ人一族のところへ行って、主の神殿の一室に来るように言い、彼らにぶどう酒を飲ませなさい。」

すると、彼らは答えた。「我々はぶどう酒を飲みません。父祖レカブの子ヨナダブが、子々孫々に至るまでぶどう酒を飲んでではない、と命じたからです。また、家を建てるな、種を蒔くな、ぶどう園を作るな、また、

それらを所有せず、生涯天幕に住むように。そうすれば、お前たちが滞在する土地で長く生きることができる、と言いました。我々の先祖である、レカブの子ヨナダブの命じたすべてのことに聞き従ってきました。生涯、我々も妻も、息子、娘たちもぶどう酒を飲まず、住む家を建てず、ぶどう園、畑、種を所有せず、天幕に住んでいます。我々は父祖ヨナダブの命じたすべてのことに従って行ってきました。今は、バビロンの王ネブカドレツアルがこの国に攻め上って来たので、『エルサレムに行き、カルデア軍とアラム軍の攻撃を避けよう』と言って、エルサレムに滞在しているのです。」

また、レカブ人一族にエレミヤは言った。「イスラエルの神、万軍の主はこう言われる。あなたたちは、父祖ヨナダブの命令に聞き従い、命令をことごとく守り、命じられたとおりに行ってきた。それゆえ、イスラエルの神、万軍の主はこう言われる。レカブの子ヨナダブの一族には、わたしの前に立って仕える者がいつまでも絶えることがない。』

聖書⇒出エジプト記 20 章 12 節

『あなたの父母を敬え。そうすればあなたは、あなたの神、主が与えられる土地に長く生きることができる。』

聖書⇒エフェソの信徒への手紙 6 章 1~3 節

『子供たち、主に結ばれている者として両親に従いなさい。それは正しいことです。「父と母を敬いなさい。」これは約束を伴う最初の掟です。「そうすれば、あなたは幸福になり、地上で長く生きることができる」という約束です。』

聖書⇒ヨハネによる福音書 4 章 20~24 節 (KH 兄)

『わたしどもの先祖はこの山で礼拝しましたが、あなたがたは、礼拝すべき場所はエルサレムにあると言っています。」イエスは言われた。「婦人よ、わたしを信じなさい。あなたがたが、この山でもエルサレムでもない所で、父を礼拝する時が来る。あなたがたは知らないものを礼拝しているが、わたしたちは知っているものを礼拝している。救いはユダヤ人から来るからだ。しかし、まことの礼拝をする者たちが、霊と真理をもって父を礼拝する時が来る。今がその時である。なぜなら、父はこのように礼拝する者を求めておられるからだ。神は霊である。だから、神を礼拝する者は、霊と真理をもって礼拝しなければならない。』

聖書⇒ヨハネによる福音書 4 章 9、14a、19 節

『すると、サマリアの女は、「ユダヤ人のあなたがサマリアの女のわたしに、どうして水を飲ませてほしいと頼むのですか」と言った。ユダヤ人はサマリア人とは交際しないからである。

しかし、わたしが与える水を飲む者は決して渇かない。

女は言った。「主よ、あなたは預言者だとお見受けします。』

聖書⇒ヨハネによる福音書 4 章 26 節

『イエスは言われた。「それは、あなたと話をしているこのわたしである。」』

礼拝讃美歌⇒41 番 (KH 兄)

『讃えの歌こそ』

《建徳要旨》